

**製品名: IGF2BP2 (13K3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12425**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	66kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IGF2BP2
別名	Igf2bp2; IMP2; p62; VICKZ2;
遺伝子 ID	10644.0
SwissProt ID	Q9Y6M1
免疫原	ヒト IGF2BP2 の合成ペプチド

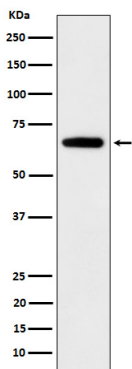
**背景**

インスリン様成長因子 2 (IGF2) mRNA の 5'-UTR に結合します。結合はアイソフォーム特異的です。標的 mRNA の翻訳を制御する可能性があります。標的転写産物を細胞質タンパク質-RNA 複合体 (mRNP) にリクルートする RNA 結合因子です。この転写産物の mRNP への「ケーシング」により、mRNA の輸送と一時的な保存が可能になります。また、標的転写産物が翻訳装置に遭遇する速度と位置を調節し、エンドヌクレアーゼ攻撃やマイクロ RNA を介した分解から保護します (類似性による)。インスリン様成長因子 2 (IGF2) mRNA の 5'-UTR に結合します。結合はアイソフォーム特異的です。β-アクチン/ACTB および MYC 転写産物に結合します。

## 研究分野

-

## 画像データ



293T 細胞溶解物中の IGF2BP2 発現のウエスタン プロット解析。